

2024年度 第3四半期 京都ものづくり中小企業景況調査 報告書

<概況>

前回調査時から、受注量、資金繰り、採算状況、受注余力では改善傾向がみられているが、受注見通しについては悪化傾向。全体として、今後の見通しについては、依然として油断できない状況が継続しているものの、一部では増産体制に備える動きもみられ、改善への兆しも伺える。

<項目別の特徴>

- ・受注量 : 業況判断D Iは▲3.6となり、前期のD I値▲17.6と比べ14.0^{ポイント}増加と、前回調査時から改善した。
- ・受注見通し : 業況判断D Iは▲11.7となり、前期のD I値▲4.5と比べ7.2^{ポイント}減少し、前回調査時より若干悪化した。
- ・受注単価 : 業況判断D Iは7.8となり、前期のD I値8.2と比べ0.4^{ポイント}減少となり、前回調査時と比べ、ほぼ横ばいとなった。
- ・資金繰り : 業況判断D Iは▲9.3となり、前期のD I値▲11.7と比べ2.4^{ポイント}増加し、前回調査時より若干改善した。
- ・採算状況 : 業況判断D Iは±0となり、前期のD I値▲6.9と比べ6.9^{ポイント}増加し、前回調査時から若干改善傾向が見られた。
- ・受注余力 : 業況判断D Iは46.0となり、前期のD I値48.8と比べ2.8^{ポイント}減少となり、若干改善傾向が見られた。
※「受注余力なし」が増加＝プラス傾向

<分析>

調査対象企業300社のうち21社に対して、訪問等により景況感についてのヒアリングを実施

- ・重電関連設備が受注増となってきており、重電業界（中でも発電機関係）は上向きで、鉄道関係も動きだしているとの情報がある。
- ・大企業の製造業界全般の動きとして、FA機器や工作機械等の設備投資が抑制されている影響で、設備向けの部品発注の新規案件は少なく、低調な状態が続いている。
- ・原材料費の高騰分の単価転嫁は相当範囲で進んでいるものの、減産に伴い受注獲得競争に陥っている業界では進んでいない。
- ・光熱費や労務費の転嫁は、まだまだ十分に反映できていない状況。
- ・価格転嫁交渉で、規制官庁の名前を出すとスムーズに話が進んだとする声も一部で聞かれた。

[自動車関連]

- ・EV化の影響で、エンジン系部品関係は大きく減少、駆動系部品も減少している。
- ・各自動車メーカーは生産台数を減産しており、部品調達の内製化などからサプライチェーン末端への影響が大きくなっている。
- ・現時点では、本田技研工業（株）、日産自動車（株）の統合の動きにより、直接的影響を受けている企業の情報は聞かれないが、事業再構築の動向など注視されている。

[半導体関連]

- ・半導体関連業界と電子部品関連業界での増産の情報を複数社より入手しているが、府内中小企業の受注面へのどの程度影響するかは不透明である。
- ・液晶関係、電子部品関係、製造設備等は低調も、一定量は動いている様子で、一部で洗浄機関係で動き出している情報がある。しかし、全体的な動きとしては鈍い状況。

(注) 本報告書で使用するD Iとはディフュージョン・インデックス (Diffusion Index) の略で、「増加」・「好転」したとする企業の割合から「減少」・「悪化」したとする企業の割合を差し引いた値である。

調査対象期間 2024年10月～2024年12月
(2024年12月末集計)

調査対象企業 300社 回答企業数 258社 (回答率 86.0%)

1. 調査概要

(1) 調査目的

受注登録企業における受注動向等の実態を把握することにより、受発注取引あっせんの円滑化を図る。

(2) 調査対象企業

当財団に登録している受注企業 300社

業種別内訳（産業分類 中分類）

① 鉄鋼・非鉄関係	18社	② 金属製品関係	68社
③ 一般機器関係	85社	④ 電気機器関係	54社
⑤ 輸送用機器関係	18社	⑥ 精密機器関係	21社
⑦ 樹脂製品関係	36社		

(3) 調査時点

2024年12月末日現在

(4) 調査方法

調査票の郵送によるアンケート方式

調査項目（受注量、受注量の見通し、受注単価、資金繰り、採算状況、受注余力）

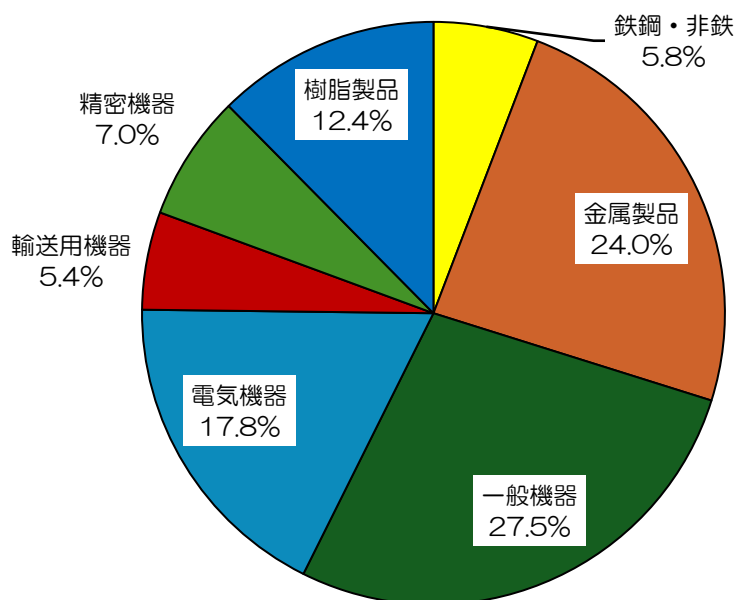
※一部企業へはヒアリング調査を実施

(5) 回答状況

① 調査対象企業数	300社		
② 回答企業	258社		
③ 内訳			
	鉄鋼・非鉄関係	15社	(5.8%)
	金属製品関係	62社	(24.0%)
	一般機器関係	71社	(27.5%)
	電気機器関係	46社	(17.8%)
	輸送用機器関係	14社	(5.4%)
	精密機器関係	18社	(7.0%)
	樹脂製品関係	32社	(12.4%)
④ 回答率	86.0%		[前回：87.7%]

2. 回答企業の概要

(1) 業種別回答企業の内訳



(2) 業種別・資本金別回答企業数

(単位：社)

	全 体	鉄鋼・非鉄	金属製品	一般機器	電気機器	輸送用機器	精密機器	樹脂製品
個人	5 1.9%		1 1.6%		1 2.2%			3 9.4%
~300万円	20 7.8%		7 11.3%	3 4.2%	3 6.5%	2 14.3%	1 5.6%	4 12.5%
301~999万円	14 5.4%		3 4.8%	8 11.3%		1 7.1%		2 6.3%
1000~2000万円	141 54.7%	10 66.7%	35 56.5%	38 53.5%	26 56.5%	6 42.9%	11 61.1%	15 46.9%
2001~5000万円	59 22.9%	5 33.3%	15 24.2%	17 23.9%	10 21.7%	2 14.3%	4 22.2%	6 18.8%
5000万円超	19 7.4%		1 1.6%	5 7.0%	6 13.0%	3 21.4%	2 11.1%	2 6.3%
合 計	258 100%	15 100%	62 100%	71 100%	46 100%	14 100%	18 100%	32 100%

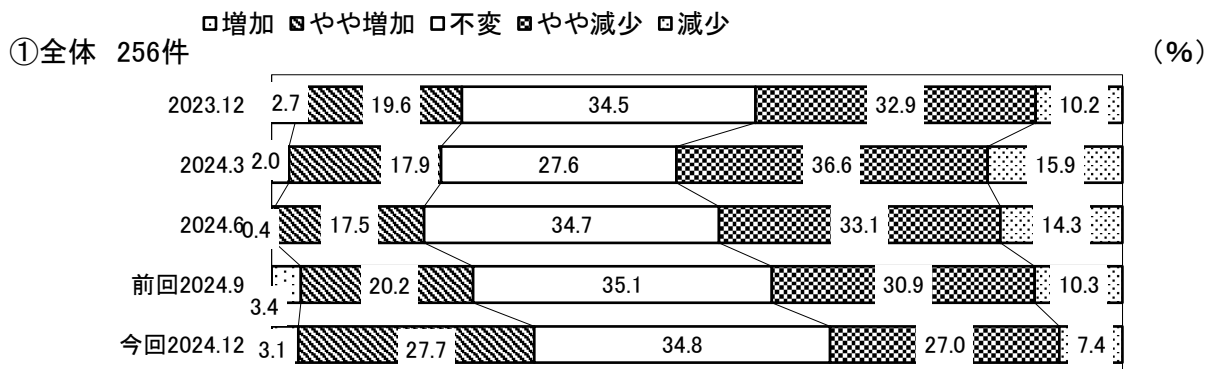
(3) 業種別・従業員別回答企業数

(単位：社)

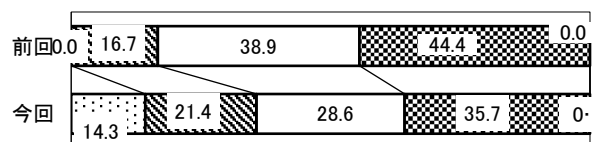
	全 体	鉄鋼・非鉄	金属製品	一般機器	電気機器	輸送用機器	精密機器	樹脂製品
1~5人	19 7.4%	3 20.0%	3 4.8%	7 9.9%	3 6.5%			3 9.4%
6~10人	31 12.0%	1 6.7%	6 9.7%	9 12.7%	6 13.0%	2 14.3%	3 16.7%	4 12.5%
11~20人	65 25.2%	3 20.0%	14 22.6%	22 31.0%	10 21.7%	2 14.3%	6 33.3%	8 25.0%
21~30人	42 16.3%	3 20.0%	16 25.8%	13 18.3%	3 6.5%	1 7.1%	1 5.6%	5 15.6%
31~50人	40 15.5%	3 20.0%	9 14.5%	9 12.7%	10 21.7%	3 21.4%	3 16.7%	3 9.4%
51人以上	61 23.6%	2 13.3%	14 22.6%	11 15.5%	14 30.4%	6 42.9%	5 27.8%	9 28.1%
合 計	258 100%	15 100%	62 100%	71 100%	46 100%	14 100%	18 100%	32 100%

3. 調査結果

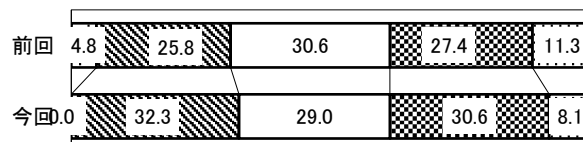
(1) 受注量について



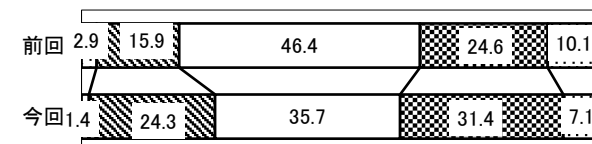
②鉄鋼・非鉄 14件



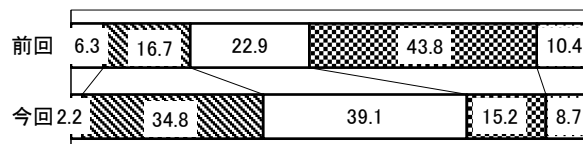
③金属製品 62件



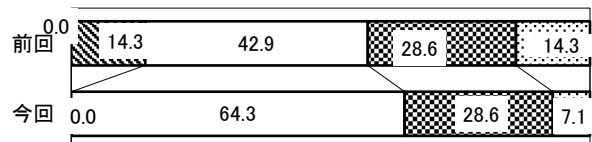
④一般機器 70件



⑤電気機器 46件



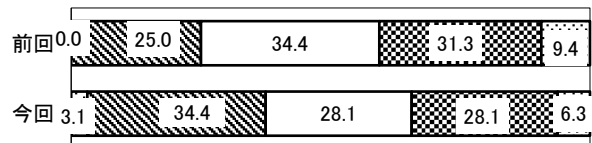
⑥輸送用機器 14件



⑦精密機器 18件



⑧樹脂製品 32件



○全体

・10月～12月期の受注量の業況判断D I（「増加」及び「やや増加」と回答した企業の割合から「減少」及び「やや減少」と回答した企業の割合を差し引いた数値）は▲3.6となり、前期（7月～9月期）のD I値▲17.6と比べ14.0ポイント増加と、前回調査時から改善した。

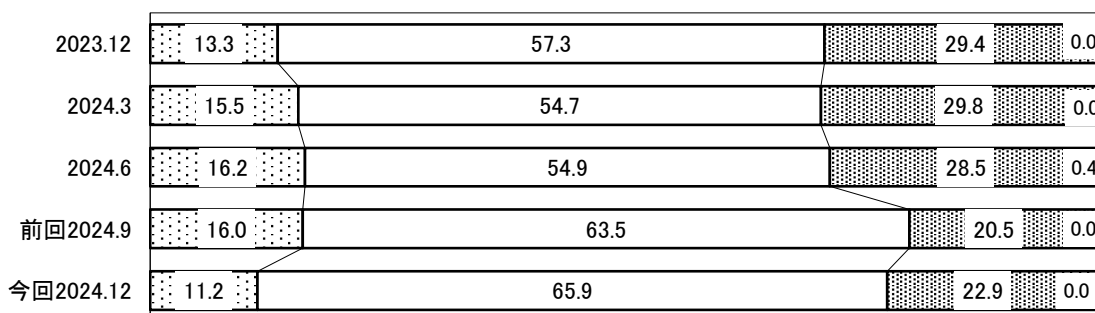
○業種別

・D I値は、電気機器（13.1）、精密機器（11.1）、樹脂製品（3.1）の3業種でプラスとなり、金属製品（▲6.4）、一般機器（▲12.8）、輸送用機器（▲35.7ポイント）、3業種でマイナスとなった。鉄鋼・非鉄の1業種のみ±0となった。

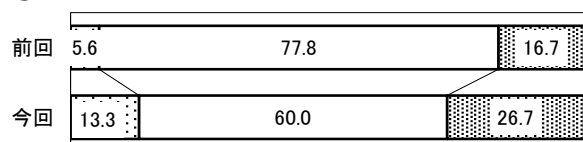
・D I値を前回と比較すると、電気機器（44.3ポイント）、鉄鋼・非鉄（27.7ポイント）、樹脂製品（18.8ポイント）、精密機器（16.4ポイント）、一般機器（3.1ポイント）、金属製品（1.7ポイント）の6業種で上昇。輸送用機器（▲7.1ポイント）の1業種で低下している。

(2) 受注量の見通しについて (3ヶ月先について調査)

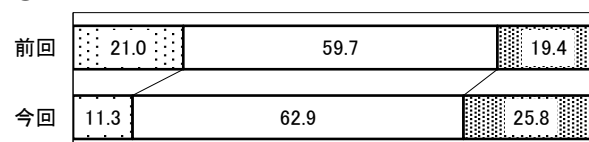
①全体 258件 □増加 □不変 □減少 □不明 (%)



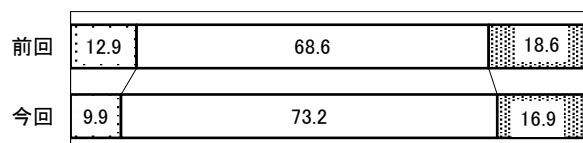
②鉄鋼・非鉄 15件



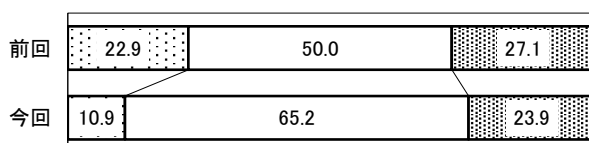
③金属製品 62件



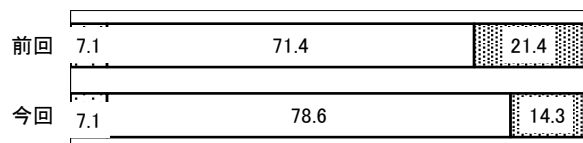
④一般機器 71件



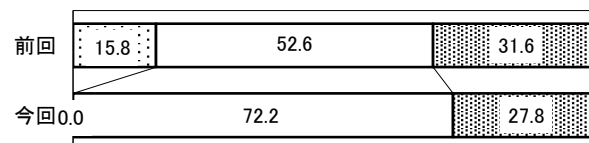
⑤電気機器 46件



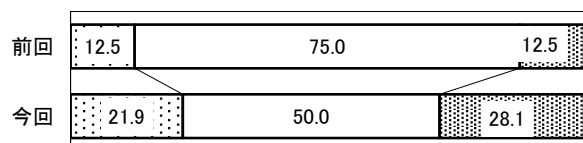
⑥輸送用機器 14件



⑦精密機器 18件



⑧樹脂製品 32件



○全体

・次期 (1月~3月期) の受注量見通しの業況判断D I (「増加」と回答した企業の割合から「減少」と回答した企業の割合を差し引いた数値) は▲11.7となり、前期 (10~12月期) 調査時のD I 値▲4.5と比べ7.2ポイント下落するも、前回調査時から「不変」と回答した企業の割合が増加した。

○業種別

・D I 値は、樹脂製品 (▲6.2)、一般機器 (▲7.0)、輸送用機器 (▲7.2)、電気機器 (▲13.0)、鉄鋼・非鉄 (▲13.4)、金属製品 (▲14.5)、精密機器 (▲27.8) の7業種全てでマイナスとなった。

・D I 値を前回と比較すると、輸送用機器 (7.1ポイント) の1業種でプラスとなり、一般機器 (▲1.3ポイント)、鉄鋼・非鉄 (▲2.3ポイント)、樹脂製品 (▲6.2ポイント)、電気機器 (▲8.8ポイント)、精密機器 (▲12.0ポイント)、金属製品 (▲16.1ポイント) の6業種でマイナスとなった。

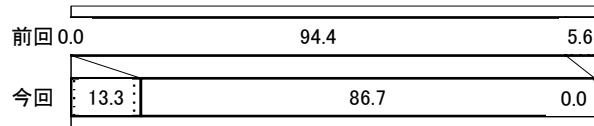
(3) 受注単価について

(%)

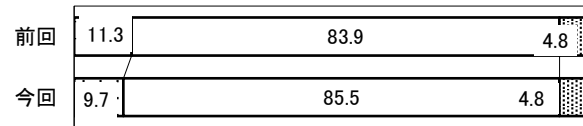
①全体 257件



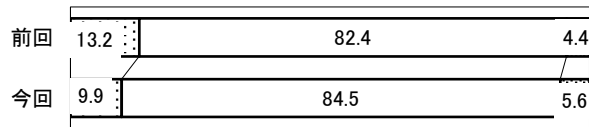
②鉄鋼・非鉄 15件



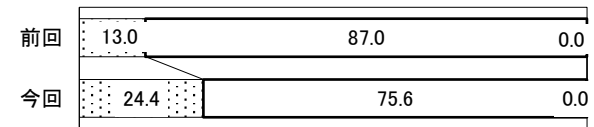
③金属製品 62件



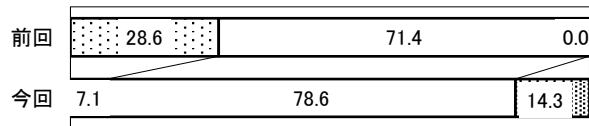
④一般機器 71件



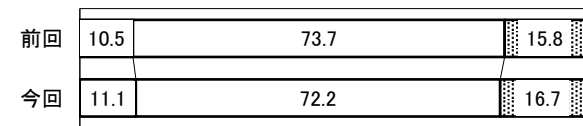
⑤電気機器 45件



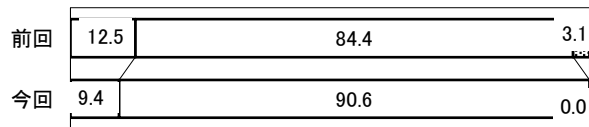
⑥輸送用機器 14件



⑦精密機器 18件



⑧樹脂製品 32件



○全体

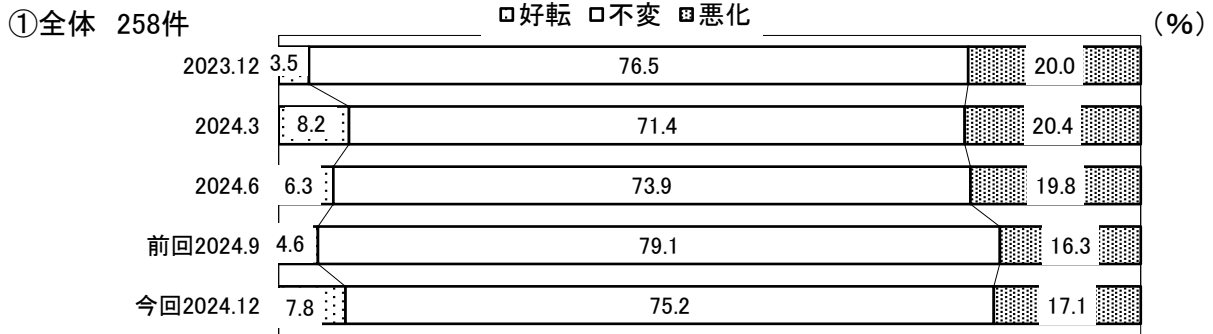
- ・10月～12月期の受注単価の業況判断D I（「上昇」と回答した企業の割合から「低下」と回答した企業の割合を差し引いた数値）7.8となり、前期（7月～9月期）のD I値8.2と比べて0.4ポイント減少し、前回調査時と比べ、ほぼ横ばいとなった。

○業種別

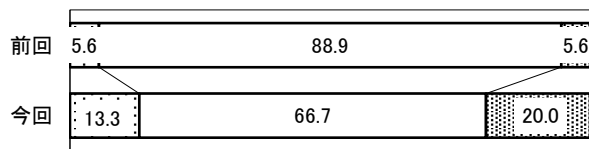
- ・D I値は、電気機器（24.4）、鉄鋼・非鉄（13.3）、樹脂製品（9.4）、金属製品（4.9）、一般機器（4.3）の5業種でプラスとなり、精密機器（▲5.6）、輸送用機器（▲7.2）の2業種でマイナスとなった。

- ・D I値を前回と比較すると、鉄鋼・非鉄（18.9ポイント）、電気機器（11.4ポイント）の2業種で上昇。精密機器（▲0.3ポイント）、金属製品（▲1.6ポイント）、一般機器（▲4.5ポイント）、輸送用機器（▲35.8ポイント）の4業種でマイナスとなり、樹脂製品の1業種のみ±0となった。

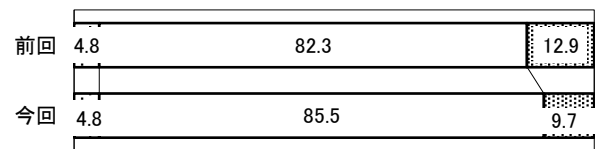
(4) 資金繰りについて



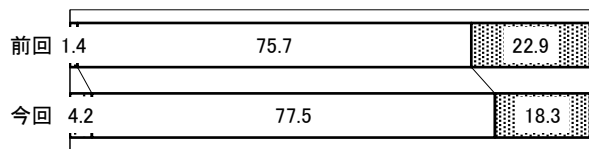
②鉄鋼・非鉄 15件



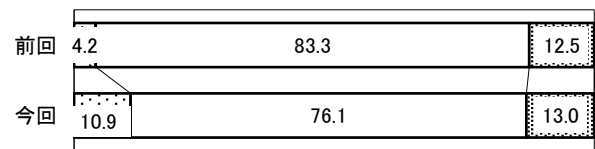
③金属製品 62件



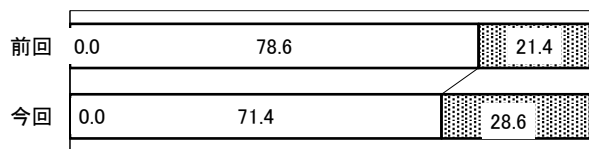
④一般機器 71件



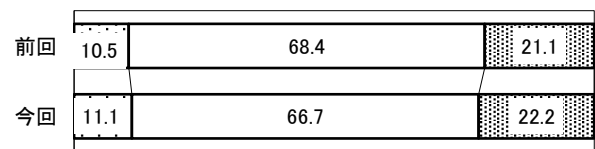
⑤電気機器 46件



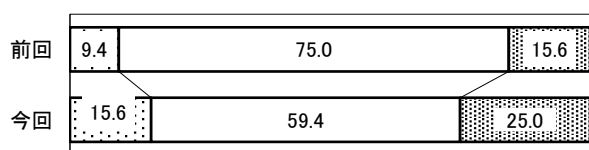
⑥輸送用機器 14件



⑦精密機器 18件



⑧樹脂製品 32件



○全体

- ・10月～12月期の資金繰りの業況判断D I（「好転」と回答した企業の割合から「悪化」と回答した企業の割合を差し引いた数値）は▲9.3となり、前期（7月～9月期）のD I値 ▲11.7と比べて2.4ポイント増加し、前回調査時より若干改善した。

○業種別

- ・D I値は、電気機器（▲2.1）、金属製品（▲4.9）、鉄鋼・非鉄（▲6.7）、樹脂製品（▲9.4）、精密機器（▲11.1）、一般機器（▲14.1）、輸送用機器（▲28.6）の7業種全てでマイナスとなった。

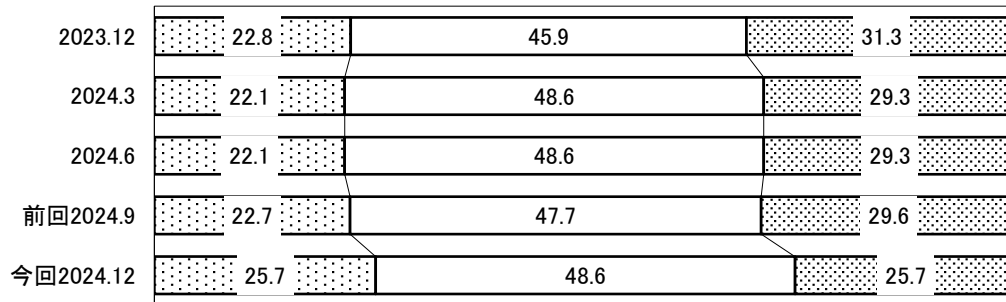
- ・D I値を前回と比較すると、一般機器（7.4ポイント）、電気機器（6.2ポイント）、金属製品（3.2ポイント）の3業種でプラスとなり、精密機器（▲0.5ポイント）、樹脂製品（▲3.2ポイント）、鉄鋼・非鉄（▲6.7ポイント）、輸送用機器（▲7.2）の4業種でマイナスとなった。

(5) 採算状況について

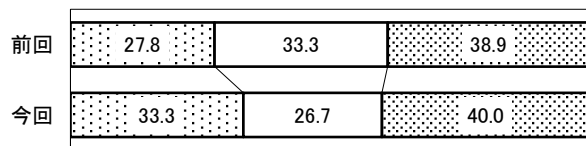
①全体 257件

□黒字 □収支トントン □赤字

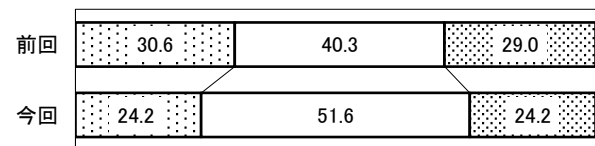
(%)



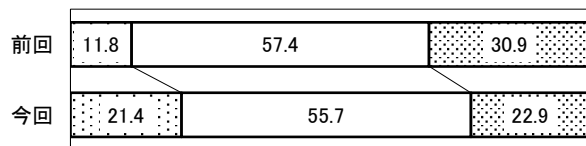
②鉄鋼・非鉄 15件



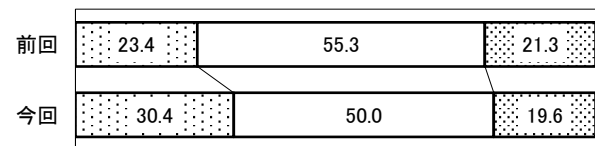
③金属製品 62件



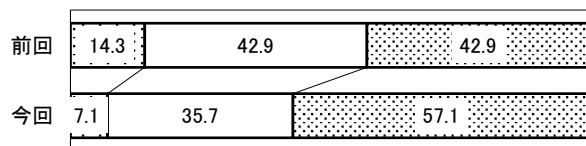
④一般機器 70件



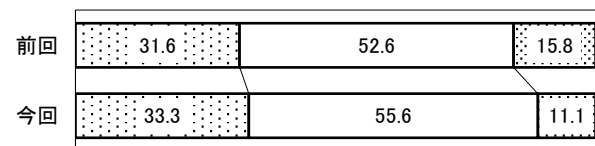
⑤電気機器 46件



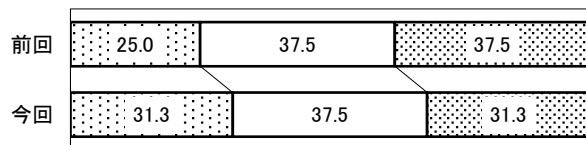
⑥輸送用機器 14件



⑦精密機器 18件



⑧樹脂製品 32件



○全体

- ・10月～12月期の採算状況の業況判断D I（「黒字」と回答した企業の割合から「赤字」と回答した企業の割合を差し引いた数値）は±0となり、前期（7月～9月期）のD I値 ▲6.9と比べ6.9ポイント増加、前回調査時から若干改善傾向が見られた。

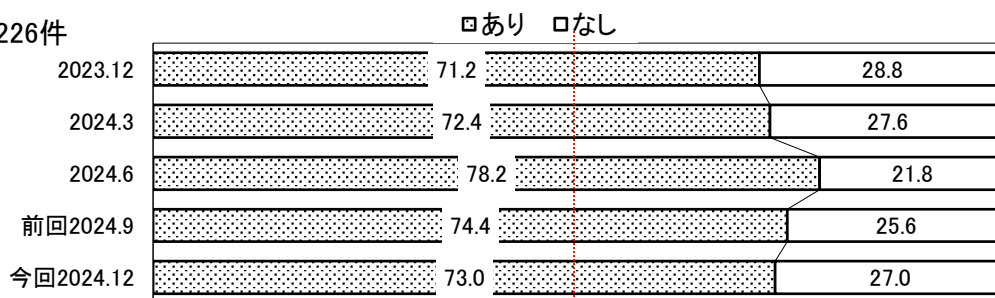
○業種別

- ・D I値は、精密機器（22.2ポイント）、電気機器（10.8ポイント）の2業種でプラスとなり、一般機器（▲1.5ポイント）、鉄鋼・非鉄（▲6.7ポイント）、輸送用機器（▲50.0ポイント）3業種でマイナスとなった。また、金属製品と樹脂製品の2業種で±0となった。
- ・D I値を前回と比較すると、一般機器（17.6ポイント）、樹脂製品（12.5ポイント）、電気機器（8.7ポイント）、精密機器（6.4ポイント）、鉄鋼・非鉄（4.4ポイント）の5業種で上昇。金属製品（▲1.6ポイント）、輸送用機器（▲21.4ポイント）、2業種で低下となった。

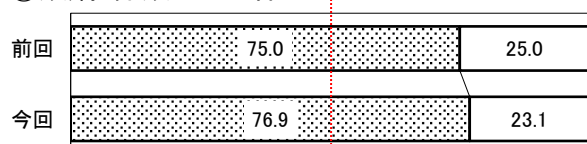
(6) 受注余力について

(%)

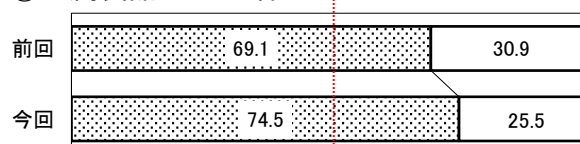
①全体 226件



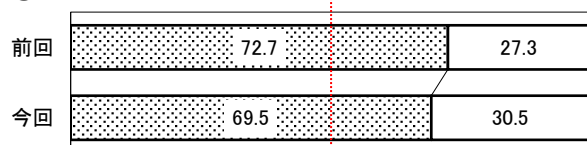
②鉄鋼・非鉄 13件



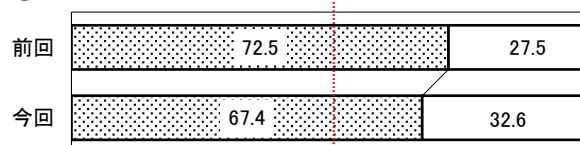
③金属製品 51件



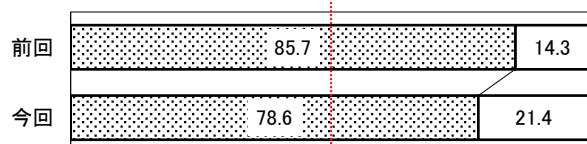
④一般機器 59件



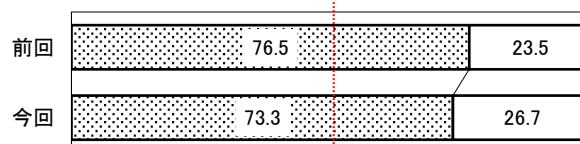
⑤電気機器 43件



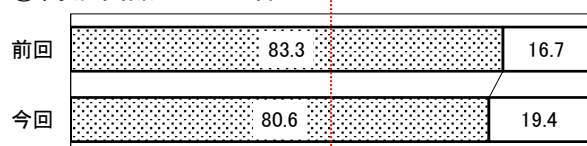
⑥輸送用機器 14件



⑦精密機器 15件



⑧樹脂製品 31件



○全体

- ・10月～12月期の受注余力の業況判断D I（「受注余力あり」と回答した企業の割合から「受注余力なし」と回答した企業の割合を差し引いた増加）は46.0となり、前期（7月～9月期）のD I値48.8から2.8ポイント減少となった。
 - ・10月～12月期は「受注余力あり」とする企業が73.0%と、前期の74.4%より1.4ポイント減少となった。
- （「受注余力あり」の割合が減少した＝プラス傾向）

○業種別

- ・D I値は、輸送用機器（57.2）、樹脂製品（61.2）、精密機器（46.6）、鉄鋼・非鉄（53.8）、一般機器（39.0）、電気機器（34.8）、金属製品（49.0）の7業種全てでプラスとなった。

- ・D I値を前回と比較すると、金属製品（10.8ポイント）、鉄鋼・非鉄（3.8ポイント）、の2業種で前回比プラス、樹脂製品（▲5.4ポイント）、一般機器（▲6.4ポイント）、精密機器（▲6.4ポイント）、電気機器（▲10.2ポイント）、輸送用機器（▲14.2ポイント）の5業種で前回比マイナスとなり「受注余力なし」と回答した企業の割合が増加している。



公益財団法人 **京都産業21**

〒600-8813 京都市下京区中堂寺南町134
(京都府産業支援センター内)

TEL (075) 315-8590 FAX (075) 323-5211

E - mail : market@ki21.jp

U R L : http://www.ki21.jp